

ご利用案内

通常放映日時＝土・日・祝日

通常放映時間・内容(10月～12月)

11:00(幼児～小学生向け)	13:30(小～中学生向け)	15:00(高校生～大人向け)
それいけ!アンパンマン ～星空をかえせ～ 妖怪ウォッチ プラネタリウムは星と妖怪がいっぱい! ほしのおはなし(星空解説)	太陽系の惑星 妖怪ウォッチ プラネタリウムは星と妖怪がいっぱい! 星空解説 ※12/3(土)「親子プラネタリウム」は別内容となります。	神秘の光・オーロラ The Moon 星空解説 ※11/12(土)「星空音楽館」は別内容となります。

※ご希望による放映も行います。事前予約が必要となりますので、詳細はお問い合わせください。

観覧料

高校生以上(個人)	510円
高校生以上 (団体20名以上)	410円
中学生以下	無料

☆博物館パスポート1枚につき、高校生以上1名無料

☆転入世帯優待券1枚につき、1世帯家族無料

☆障害者手帳持参により、本人とその介助者1名無料

☆市内在住70歳以上の方は無料

☆その他、各種イベント開催時には無料

アクセス

交通案内

〈バス〉 松本バスターミナル3番のりば(アリオ1階ホーム)より乗車
 ①入山辺線 里山辺出張所前より下車 徒歩1分
 ②美ヶ原温泉線 新井橋より下車 徒歩15分

〈車〉 長野自動車道松本ICより約20分 駐車場60台(無料)

松本市教育文化センター

〒390-0221 松本市里山辺 2930-1

TEL:0263-32-7600 FAX:0263-32-7604

E-mail:kyoubun@city.matsumoto.nagano.jp

星空クイズ!(月の模様編)

月の模様がうさぎに見えるのはいつ?

- ①夕方頃
- ②真夜中頃
- ③明け方頃
- ④一晩中

正解は①です

ほしみる

No.41 2016.11.3

11月のおうし座さん

11月はおうし座付近でいくつかの天文イベントが起こります。この頃のおうし座は、20時の時点で東の空やや低い位置にあるため、見やすい位置にくるのは22時以降になります。

アルデバラン

おうし座の1等星。赤みがかったオレンジ色の明るい星です。おうし座の右目部分にあり、牛の血走った目「ブルズ・アイ」とも呼ばれています。

プレアデス星団

おうし座の肩の部分にあたる散開星団です。日本では昴星(すばるほし)とも呼ばれています。青白い星が数十個集まって形成されますが、肉眼では6~7個くらいの星が集まっているように見えます。そのため、「六連星(むつらほし)」や「羽子板星」とも呼ばれています。ギリシャ神話では、巨人アトラスの娘プレアデス7姉妹が星になった姿とされています。

ヒアデス星団

おうし座の顔の部分にあたる散開星団です。日本では畢星(あめふりほし)と呼ばれていました。V字型にまばらに星が集まって見えることから、「釣鐘星」や「馬の面星」とも呼ばれています。ギリシャ神話では、巨人アトラスの娘であるヒュアデス7姉妹とされ、プレアデス7姉妹とは異母姉妹となります。

おうし座流星群

北群と南群の2つの流星群から成ります。どちらも1時間当たりの流星数が10個以下と少ないものの、火球と呼ばれる明るい流星が多く流れるのが特徴です。見頃の時期は、南群が極大日の6日22時以降、北群が13日以前の月明かりのない日となります。

16日未明ごろ
アルデバランが隠される

15日22時ごろ
ヒアデスθ1星が隠される

15日18時ごろ
ヒアデスν星が隠される

14日23時ごろ
スーパームーン
(今年最大の満月)
おうし座付近で見られる

おうし座自体の見頃は12月ごろとなります。アルデバラン食は2017年にも何回か見られますが、それ以降は17年後の2034年まで見られなくなります。

アルデバラン

プレアデス星団

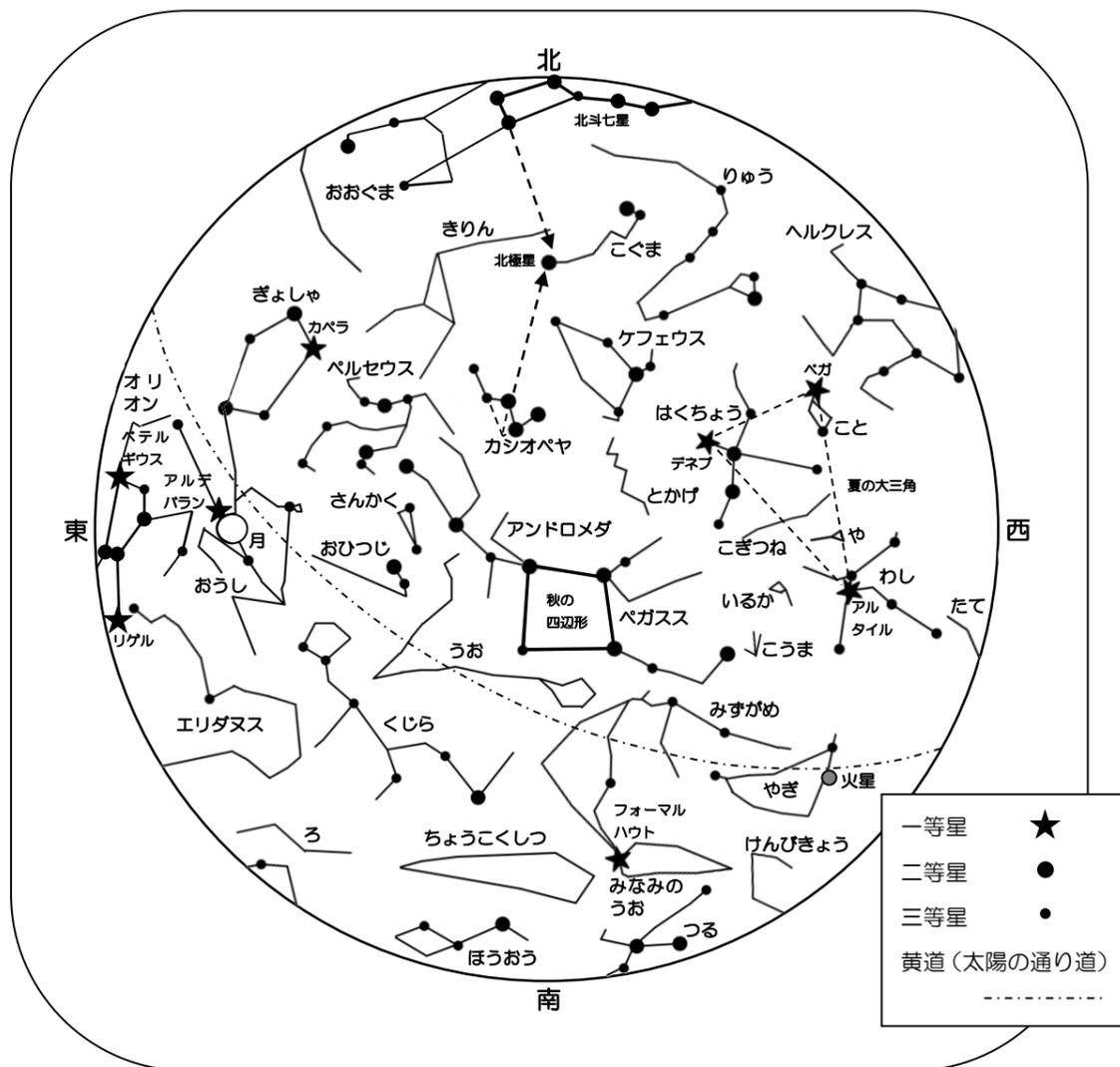
おうし座

北群放射点

南群流星群

季節の星空

11月15日20時頃の松本の星空



11月の主な天文情報

- 3(木) 細い月と金星、土星が接近
- 6(日) 月と火星が接近、おうし座南流星群が極大のころ(出現期間 10/15~11/30)
- 13(日) おうし座北流星群が極大のころ(出現期間 10/15~11/30)
- 14(月) 満月(スーパームーン)
- 15(火) ヒアデス星団(おうし座の散開星団)が食
- 16(水) アルデバラン(おうし座の1等星)が食
- 17(木) しし座流星群が極大(出現期間 11/5~11/25)
- 25(金) 細い月と木星が接近
- 29(火) 新月

★
きょくだい
極大→天体の活動が最も活発になること。流星群の場合は、最も多く流星が現れる期間を指します。

★
しよく
食→ある天体が他の天体によって隠されたり、影に入り込んだりする現象。月が前面にくることで恒星や惑星が隠されることを星食といひます。

☆ ☆ ☆ プラネタリウム事業案内 ☆ ☆ ☆

- 11/12(土) ☆星空音楽館 15:00~
プラネタリウムで星空を見ながら音楽を鑑賞しましょう。今回のテーマは「愛の幻燈会」です。さまざまな愛の形を切り取り、すてきな音楽でお伝えします。申し込み不要。当日先着 90 人
- 11/20(日) ☆太陽観測 9:00~10:15
天体望遠鏡を使って、太陽のプロミネンスや黒点を観測します。専用のフィルターを使用し、安全に観測できます。
(観測ができない天気の場合はプラネタリウムをご覧ください。)
受付開始:11/13(日) 8:30 より
定員:15 人(小学生以上。小学生の方は保護者同伴)
- 12/3(土) ☆親子プラネタリウム 13:30~
親子連れの方を中心に楽しめる、番組の投映と解説を行います。今回のテーマは「星の誕生」です。
申し込み不要。当日先着 90 人

※事前申し込みが必要な事業についての受付は、電話受付のみとさせていただきます。

月の光に導かれ...

2016年4月22日の夜は今年最小の満月「マイクロムーン」が見られました。それに対して11月14日の夜に見られるのは、今年最大の満月となる「スーパームーン」です。月が地球の周りを公転する衛星ですが、地球と月の重心位置を焦点とする楕円の形で回っているため、その距離は近づいたり遠ざかったりします。月が公転するたびに距離の変化が起こりますが、月の公転周期が約27.3日なのに対し、月の満ち欠けの周期は約29.5日とずれています。その年で月が地球に最も近づく時と周期が重なる満月を「スーパームーン」と呼びます。今年は特に、1948年以来68年ぶりの大接近と言われており、普段の満月よりも視直径が7%大きくなるので、月の表面を観察しやすくなります。月の模様は、地球の自転により時とともに回転するので、満月を観察する時間帯や各地域の文化によって、模様の見立て方が変わります。



東の空
夕方頃の満月
餅をついたうさぎ(日本)
大きなハサミのカニ
(南ヨーロッパ)

南の空
真夜中頃の満月
女性の横顔(東ヨーロッパ)
巨大なヒキガエル(中国)

西の空
明け方頃の満月
吠えるライオン(アラビア)
薪を担ぐ男(ドイツ)